

15. 舗装台帳作成要領について

建設省道路局
昭和35年7月

目 次

舗装台帳作成要領について	15-3
I 目的	15-3
II 管理	15-3
III 様式	15-3
IV 記入要領	15-3
V 様式-B	15-6
VI 様式-C	15-7
VII その他	15-7
舗装台帳	
様式-A	15-8
様式-B	15-9
様式-C	15-10

舗装台帳作成要領について

昭和35年7月

道 路 局

I 目 的

道路交通に支障のないように、長期にわたって維持するためには、道路の現況と経歴を詳細に把握する必要がある。舗装台帳は、この目的に即して道路の現況、経歴、および維持、修繕改築、工事等を記録し、道路の維持の効果的、経済的な運営を計るものである。

II 管 理

舗装台帳は、上記の目的に沿って作製されるものであるから、維持を担当する各工事事務所および出張所においては、正確な記入、完全な保管、効果的な利用をはからなくてはならない。

本台帳は（指定区間、改築区間）の全線について作製し、保管は、工事事務所の責任とする。

III 様 式

様式は次の3種類とし、別紙の通りとする。

様式-A 道路の現況調査を主体とするもの。

様式-B 路面の維持、修繕の記録を主たる目的とするもの。

様式-C 同 上

なお、用紙は厚紙で裏打ちし、長期保存に耐えるようにする。

IV 記入要領

1-様式A

(1) 地 名

平面図の起終点の市、町、村および字を記入する。

(2) 延 長

平面図の道路延長を記入する。

(3) 幅 員

車道幅員および車道舗装幅員を記入する。

(4) 舗装面積

舗装の工種毎に面積（単位 m^2 ）を記入する。

(5) 路 線 名

国道名（国道番号）を数字で記入する。

(6) 府 県 名

都道府県及び五大市名を記入する。

(7) 図面番号

図面番号は、杆標番号を基準として整備し、例に示すように前の数字には杆標番号を、後の数

字には秆標内の頁数を記入する。平面図に2つの秆標番号のあるものは、後の番号を記入する。

例： 35 2
 ↓ ↓
 秆標番号 35kmの範囲内の2枚目

(8) 平面図

(i) 縮尺 $\frac{1}{500}$

(ii) 中心線に沿って地点標（秆標および100米標）および20m毎に位置を記入する。

分子に秆標の数、分母には秆標よりの延長を記入する。

例： 秆標 $\frac{35}{0}$ (35秆)

100米標 $\frac{35}{300}$ (35秆300米)

(iii) 図の左側を路線の起点側とする。

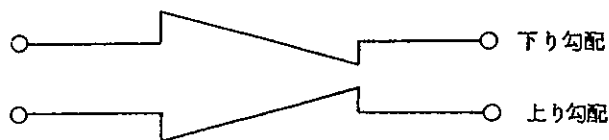
(iv) 舗装の形状、目地および附帯構造物（側溝・擁壁・暗渠・橋梁等）を主体とし、あわせて周囲の状況、地勢等を記入する。切土、盛土の区別を法等により明確にさせる。

(v) 直角曲り、急角度に曲るものについては、附近の状況が分るように適当に分割し離して記入する。

(9) 曲線

曲線長CL、曲線半径R、直線長Lおよび片勾配S（単位%）を記入する。

(10) 縦断



(11) 柱状図

柱状図は、当該区間の過去の資料および調査、改築、修繕等が行われた場合の資料に基づいて記入する。（記入例参照）

記入事項は次の事項につき記入するが、不明な事項について漸次調査の上記入した次の事項以外でも必要な事項を適宜記入する。

(i) 位置および範囲

調査の場合は位置を平面図に明記する。改築または修繕工事で、道路の構造が明確にわかるものについては、その範囲を示す。局部的に打換えたものについては斜線を引いて範囲を明確にさせる。

(ii) 年月日

調査および施工の年月日を（ ）内に記入する。

(iii) コンクリート舗装

(イ) 版

○版 厚 (単位cm)

○強 度 (単位kg/cm² 圧縮強度: 曲げ強度)

(ロ) 路 盤

改築の舗装では路盤工法及び施工方法を記入する。

○厚 (単位cm)

○M: 最大骨材寸法 (単位mm)

○g: 砂利・砂率 (単位%)

(注) 砂利、砂率 (Gravel-SandRatio) は全骨材量に対するNo 8 No 8 篩 (2.38mm) に残留するものの百分率である。

(ハ) 路 床

○土の分類は改訂PR法による。

○PL: 塑性限界 (単位%)

○PL: 液性限界 (単位%)

○W: 自然含水量 (単位%)

○CBR: 路床支持力比 (単位%)

(iv) 瀝青系舗装

(イ) 表 層

○厚: (単位cm)

○A: アスファルトの量 (単位%)

○M: 最大骨材寸法 (単位mm)

○g: 砂利、砂率 (単位%)

○アスファルトの品質 (針入度等)

(ロ) 基 層

セメント、コンクリート系であれば、セメント、コンクリート舗装の版、瀝青系であれば表層の表示法によること。

(ハ) 路 盤

コンクリート舗装の路盤の表示法による。

(ニ) 路 床

コンクリート舗装の路床の表示法による。

(v) その他

修繕等により、在来舗装を打換えるときは、平板載荷試験により在来および、新規の路盤、路床の支持力を測定して記入する。

(12) 改良、舗装の経歴

該当区間についての改良、舗装および修繕の施工年度、事業主体、施工者、事業費について記入し摘要欄にはその範囲を記入する。

(13) 横断図

代表的横断図を記入し、幅員構成および寸法を明記する。

(14) 舗装の構造図および配合

(i) コンクリート舗装

○目地構造図、配筋図、配合、強度等について判っているものがあれば記入する。

(ii) 瀝青系舗装

○工法、施工方式、配合等について判っているものがあれば記入する。

V 様式-B

(1)~(8)様式Aと同様

(9) 平面図

様式-Aの平面図と同様であるが、路面の形状、目地、および破損の状況等について記入する。
また修繕工事で打換え、被覆したものを別に記入出来るよう充分余裕を取っておくこと。

(10) 記事

維持及び修繕工事のすべてについて年月日、施工区間、工種（記号の各欄および摘要欄に工法の概要を記入する。）

(i) 維持工事

維持工事の工種記号および平面図に記入の要否は次の通りである。

工種	工種の説明	単位	平面図に記入の要否
A	セメントコンクリート舗装の維持		
A-a	目地亀裂の填充	m ²	否
A-b	欠損部処理	〃	要又は否
A-c	コンクリートによる局部的打換	〃	〃
A-d	応急処理	〃	否
A-e	注入工法による修理	〃	要
B	瀝青系舗装の維持		
B-a	パッチング	m ²	要
B-b	表面処理	〃	〃
B-c	波正表面の整正、すべり止め、フラッシュの処理	〃	要又は否
B-d	応急処理	〃	否

(ii) 修繕工事

摘要欄には次の事項を記入する。

(イ) コンクリート舗装

版厚、強度、示方配合、目地構造、配筋その他工事上、工法上特記すべき事項。

(ロ) 瀝青系舗装

工法、施工方式、配合、安定度その他工事上、工法上特記すべき事項。

(ハ) 路盤

厚、最大骨材寸法、砂利砂率、支持力係数その他工事上、工法上特記すべき事項。

VI 様式-C

様式-Bの平面図がない記録欄のみのもので、記入事項は様式-Bと同一である。

VII その他

道路台帳の記入事項と重複する部分については、内容が矛盾せぬよう注意すること。

舗 装 台 帳

様式-A

地名	〇〇市〇〇区〇〇町	延長	200m	舗装幅員 車道幅員	7.5m 10.0m	舗装 面積	合計 1,500	C O	—	A S	1,500	路線 名	1	府県 名	—	図面 番号	52-2	
<p>曲線縦断</p> <p>CL=100m R=200 C=4%</p> <p>2%</p>																		
注 状 図	No.1 調査 (34-5-20)			35/100 35/300 全面被覆 (34-9-15)			No.2 調査 (34-5-20)											
		コンクリート	H=20	oc=220		アスファルト	H=5	A=00	M=00									
		砂	H=5	M=5		コンクリート												
		ロ - ム	H=60	A-7-6		マカダム												
			W=28	CBR=8		ミルト	H=30	A-4	PL=00									
			LL=40			水	H=10		M=00									
						マカダム			g=00									
						トベカ	H=5	A=00	M=00									
						アスファルト	H=5	A=00	M=00									
						マカダム			g=00									
						水	H=10		M=00									
						マカダム			g=00									
						ミルト	H=30	A-4	PL=00									
						W=00	LL=00											
<p>35/100 35/150 (打換部分 34-7-28)</p>																		
備 考	改 良 舗 装 修 善																	
	施工年度	昭 28	昭 50	昭 51														
	事業主体	沖縄総合事務局	沖縄総合事務局	沖縄総合事務局														
	施工者	〇〇建設	□□道路	〇〇K.K.														
	事業費	千円 64,000	千円 48,000	千円 5,000														
	摘 要	36 451	38 451	36 451	39 585	36 530	36 630											
<p>○横断面</p> <p style="text-align: right;">○示方配合および強度. ℓ/W/ℓ ○kg oc28=kg/ml セメント ○kg oc28=kg/ml 砂 利 ○kg 砂 ○kg 水 ○kg</p>																		

規格 B列3

舗 装 台 帳

様式-B

地名	〇〇市〇〇区〇〇町			延長	200m	舗装幅員	7.5m	舗装面積	合計	CO	AS	路線名	1	府県名	〇〇	図面番号	55-2			
	車道幅員	10.0m	面積	1,500	—	1,500														
平面	8mm1/500																			
記事	年月日	記事	工期	数量	摘要			年月日	記号	工種	数量	摘要			年月日	記号	工種	数量	摘要	
	34.6.27	1	A-0	3 m ²	厚さ25m															
	6.20		A-a	500m ²	セロシール〇〇m															
	6.20	2	A-0	45m ²	セメント ーkg 砂 土 ーkg															
	7.28		修繕コンクリート打換		コンクリート厚さ 23cm セメント〇〇kg W/e mm〇%															
	7.30		35 106 178	35 130 202	砂 〇〇kg 砕石 (M-40) 〇〇kg															
			35 178	35 202	水 〇〇kg T e 28=30.0kg															
					水締マカダム H=15M M=70 g=60 K=30 M=70 g=20															
					切込砂利 H=30 M=70 g=20 K=30=10															
	34.9.15		全 面 被 覆	1.500m ²	アスファルトコンクリート*															
	9.15				厚=5cm 1m ² 当り アスファルト〇〇kg 砕石 (〇〇mm-〇〇mm) kg 砂 〇〇															
					ファイラー 安定度 〇〇															
					フィニッシャーにより施工															

規格 B列5

